

似顔絵とマンガの関係 -幕末・明治に描かれた「顔」に隠された秘密とは-



9月1日(土) 午後1時30分～3時
顔はマンガにとって重要な役割。ところが、そうした認識は、幕末・明治初期の図像には当てはまらなかったのです。それはなぜでしょう。また、似顔絵とマンガにはどのような関係があるのか。具体的な「顔」を見ながら、一緒に考えてみましょう。

講師：吉村 和真 氏 (京都精華大学マンガ学部教授・副学長)

1971年、福岡県生まれ。専門は思想史・マンガ研究。2001年の日本マンガ学会設立や2006年の京都国際マンガミュージアム開館などマンガ研究の環境整備と社会還元を推進。著書『「はだしのゲン」がいた風景-マンガ・戦争・記憶』(編著、2006年)、『複数の「ヒロシマ」記憶の戦後史とメディアの力学』(編著、2012年)ほか。

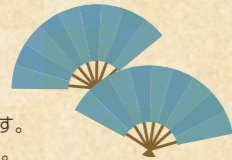
対象：中学生～

子ども向きイベント

「扇子づくり」

7月26日(木) 午後2時～3時
定員：先着15人(要予約)

組み立て済みの扇子にお絵かきをします。オリジナルの扇子で夏を涼しく過ごそう。



「おはなし会と万華鏡づくり」

8月9日(木) 午後2時～3時
万華鏡づくり定員：先着15人(要予約)

「どようおはなしひろば虹」のおはなし会のあと、万華鏡を作ります。



「ブックトーク」

9月15日(土) 午後2時～2時30分
司書がおすすめの歴史マンガを紹介します。



「けん玉教室」

9月29日(土)
午後2時～3時 定員：先着15人(要予約)

けん玉の達人 仁科草氏に上手にできるコツを教えてもらおう。



「おはなし会と提灯づくり」

10月13日(土) 午後2時～3時
提灯づくり定員：先着15人(要予約)

「どようおはなしひろば虹」のおはなし会のあと、提灯にお絵かきをします。



「おはなし会とカルタで遊ぼう」

11月10日(土) 午後2時～3時
カルタ定員：先着20人(要予約)

「どようおはなしひろば虹」のおはなし会のあと、カルタで遊ぼう。



スタンプを集めて、クジにチャレンジ!!
イベントの参加と図書の出貸で、スタンプを集めて景品を当てよう!(対象:小学生まで)

特別展示

織田文化歴史館

幕末明治福井150年博 特別展示
「幕末明治の越前町」開催のお知らせ

幕末明治福井150年博に合わせて、織田文化歴史館では特別展示を開催します。展示では、^{うえのじゅんげい}上野順藝が校訂をおこなった「^{あつぱくはんいっさいきょう}黄葉版一切経」、越知山大谷寺に伝わる「越知山開運講」、越前二の宮・劔神社に遺された歴史資料、日本六古窯のひとつで日本遺産に認定された「越前焼」などを中心に、幕末・明治期における越前町の歴史を様々な視点から描いていきます。また、関連イベントとして記念講演会も開きます。詳細は、広報9月号で、改めてご紹介します。

9月29日(土)～12月2日(日)

関連イベント 記念講演会

特別展示の会期中に記念講演会を開きます。講演会は、10月7日(日)・10月28日(日)・11月18日(日)の3回開催し、1日2人の講師がお話します。

10/7(日) 松永 知海 氏 (佛教学部 教授)
村上 雅紀 (織田文化歴史館 学芸員)

時 間 午後1時～3時40分
会 場 越前町織田文化歴史館 文化交流ホール

10/28(日) 三井 紀生 氏 (郷土史研究者)
堀 大介 (織田文化歴史館 学芸員)

募 集 対 象 誰でも参加可能。
事前申込みなし。

11/18(日) 一瀬 諒 氏 (越前古窯博物館 学芸員)
小辻 陽子 (織田文化歴史館 学芸員)

定 員 先着50人
参 加 費 無料
問 合 せ 先 ☎36-2288



幕末明治福井150年博

明治150年となる平成30年に、福井の先人に学び、歴史・文化を継承するとともに、その魅力を全国に発信し、地域間交流の促進や誘客拡大を図ることを目的に、県および17市町などが連携し、「幕末明治福井150年博」を開催します。

町立図書館では、平成28年度から開催している「歴史図書・マンガフェア」をさらに拡充し、また、織田文化歴史館では、町内の幕末・明治に焦点を絞った特別展示を開催します。

幕末明治マンガフェア

7月21日(土)～平成31年2月28日(木)
越前町立図書館・宮崎分館・越前分館・織田分館

幕末から明治期を中心に、歴史マンガや図書を集めます。町内の4つの図書館ではそれぞれ、マンガや図書の展示や関連イベントを行います。今月は、織田分館での催しを紹介します。



織田分館

問合せ先 ☎36-2288

展 示



7月21日(土)～12月2日(日)

幕末明治期を中心に、2,000冊以上の歴史系マンガが文化交流ホールに並びます!

- ・学研、集英社、小学館など各出版社の学習漫画『日本の歴史』が新旧そろいます。
 - ・福井県で活躍した『松平春嶽』や『橋本左内』などをはじめ伝記マンガもあります。
 - ・幕末明治を題材にしたマンガを数多く集めました。
- 『アサギロ〜浅葱狼』ヒラマツ・ミノル 『風光る』渡辺多恵子 『JIN-仁-』村上もとか 『風雲児たち』みなもと太郎 『PEACE MAKER』黒乃奈々恵 『るろうに剣心』和月伸宏 など(※フェアの本は貸出できません。館内でお読みください。)

講 演 会

定員：先着50人 無料

歴史マンガの作り方



(福井新聞 平成30年1月1日号より)

7月21日(土) 午後1時30分～3時

マンガってどう作るの? 普段は見られないネーム(設計図)等も大公開! 歴史マンガ原作者がわかりやすく、おもしろくお話しします。

対象：小学生～

講師：後藤 ひろみ 氏 (県立歴史博物館付属「ときめぐる、カフェー。」代表)
1969年、福井県生まれ。2002年「ベーカリーカフェたねと、はっぱ」、2014年、県立歴史博物館に2号店である「歴博茶房 ときめぐる、カフェー。」開業。「2008年「ふくい女性起業家交流会ふくむすび会」を設立、会長を務める。2010年「福井歴史の会」を結成。県内の幕末のイベントにかかわる中、2017年10月ポプラ社より出版された『コミック版日本の歴史 松平春嶽』の原作を担当。2018年同シリーズ『篤姫』『大谷吉継』原作担当。現在、4作目も執筆中。

「ふるさと福井の先人100人」で見る福井の幕末ふかん録



8月4日(土) 午後1時30分～3時

「ふるさと福井の先人100人」の中から福井の幕末・明治を生きた人々を見ていきます。

対象：中学生～

講師：千葉 亮子 氏 (プランナー・ライター)

1957年、福井県生まれ。県立恐竜博物館 映像台本制作「珪化木の不思議」文部科学大臣賞受賞ほか。県立歴史博物館・県立こども歴史文化館ほか歴史博物館系の映像台本制作。著書「小説白山平泉寺 白の聖都」第15回歴史浪漫文学賞創作部門優秀賞受賞。福井県教育委員会発行「ふるさと福井の先人100人」、福井県発行「時をかける泰澄」執筆ほか。

幕末明治福井150年博の開催

